

# 小川ひさし市議会レポート

**議会でタブー視されてきたPTA寄附に切り込む！  
市立小中学校の保護者負担の軽減を！  
PTA寄附に頼らない学校予算増額を目指して！**

— さいたま市立 小中学校1億円超(令和元・2年度) PTA寄附 —



🎤 6月定例会本会議一般質問では、PTA寄附について質問しましたがその理由は？

**小川** 複数の保護者から「教育費負担が大きい、その中にはPTA会費もある。公立学校なのに備品などの購入費用をPTA寄附に頼らないように学校予算を増やしてもらいたい」とのご要望を頂きました。



**重い！中学生の一人の学校への保護者負担約18万円(年額)**

🎤 保護者の負担は毎月どの程度になっていますか？

**小川** 例えば、ある市立中学校の保護者負担は約18万円(年額)です。

**小川** 例えば2人の子どもが中学生だとこの2倍ですから大変な負担です。少しでも保護者負担を軽減できるような対応が必要だと思います。

🎤 市議会ではいつから取り組んでいますか？

**小川** 令和2年9月議会から取り組みました。

🎤 具体的には？

**小川** 学校は、PTA等から寄附を受ける場合は、事前に教育委員会への申請が必要です。ところが、ほとんどの市立学校では長年にわたってこの手続きが行われてこなかったことが明らかになりました。これでは、PTA役員や会員の中に不信感を持つ方がいらっしゃるの当然です。

🎤 なぜ、学校は申請手続きを怠っていたのでしょうか？

**小川** 本年6月議会本会議一般質問を行うにあたって全10区内23の小中学校を訪問して学校長から話を聞きました。その中で、地方財政法など法的な問題があるのではないかと、寄附に対する認識が甘かった、どのような物品が寄附に該当するのかがよくわからなかった。などの声が多くありました。



## さいたま市立小中学校への寄附を 全面公開が実現、全国が注目！


 PTA寄附の実態は？

**小川** 議会質問の中でPTA寄附の内容を公表するように求めてきました。その結果、令和元年度分より、さいたま市ホームページで公開されることになりました。令和元年度、2年度にさいたま市立小中学校が受けた寄附は、1億円を超えていることが明らかになりました。

令和3年度市立小中学校寄附受け入れ状況一覧



## 学校運営費は公費負担が原則


 そもそも、公教育であるので備品などは公費でまかなうべきでは？

**小川** はい、地方財政法などは、学校運営費は公費負担を原則としています。これまでの取り組みの中で、PTAから学校が受けた寄附物品のほとんどが印刷機や大型扇風機、体育館暗幕、発電機など公費でまかなうべき物品であることも明らかになりました。

さいたま市議会インターネット議会中継で質問の → 録画中継をご覧ください。



## PTA会費はPTAのために、学校備品は公費で負担へ！

 6月議会では、具体的にどのような改善策を提案しましたか？

**小川** ①PTA会費は、PTA活動に使って頂けるように公費で賄うべき備品などは公費で賄うこと。また、そのための学校予算を確保すること。

**市長**：「教育環境の整備や学校運営に支障が生じることがないように、できる限り必要な予算措置を行う。」



②学校が寄附を受ける際には、教育委員会への申請手続きを徹底すること。

**教育長**：「寄附採納手続き漏れの事例が、未だに解消されていないことについてこんなことがあってはならないと思っている。今までの学校に対する周知や指導が十分でなかったと認識し、各学校に手続き漏れがないように通知をし、教職員等に対して研修会の実施を行った。」



③学校振興費や学校協力金等、実質現金寄附と同様な寄附は受け付けないこと。

**教育長**：「学校協力金や学校振興費という名目の寄附を受けないことについて、教育委員会として引き続き学校に指導していく。」